

平成 29 年度 決算の概要

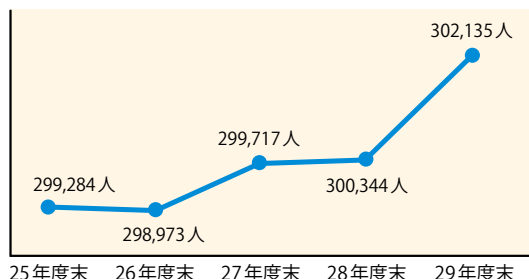
平成 29 年度の決算の概要などについて説明します。

組合員数

平成 29 年度末 組合員数 302,135 人

平成 29 年度末の組合員数は、前年度末より 1,791 人 (0.6%) 増加しています。

組合員数の推移



短期給付事業

全支部で実施

医療給付等の決定・支払い

法定給付：医療費、休業給付、災害給付等

附加給付：家族療養費附加金等

高齢者医療制度への支援金等の納付

前期高齢者納付金、後期高齢者支援金、

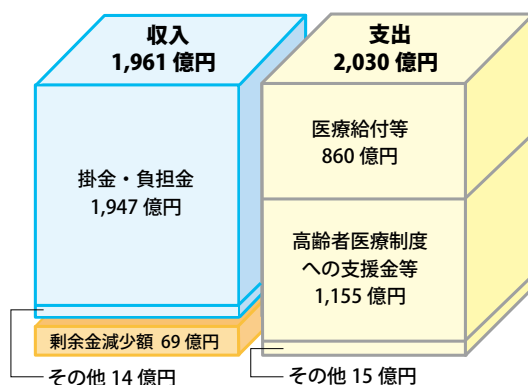
退職者給付拠出金、介護給付費納付金等

掛金及び負担金の収入の減少により、平成 29 年度は 69 億円の赤字となりました。

その結果、平成 29 年度末の剰余金は 656 億円となりました。

今後、高齢者医療制度への支援金等の増加が見込まれることから、数年先の状況を見据えて運営していくことが重要となっています。

収支の状況



長期給付事業

全支部で実施

厚生年金保険経理

厚生年金保険給付の裁定・支払い

老齢厚生年金、退職(共済)年金、障害厚生年金、障害(共済)年金、

遺族厚生年金、遺族(共済)年金等

厚生年金拠出金の納付

厚生年金保険給付に要する費用

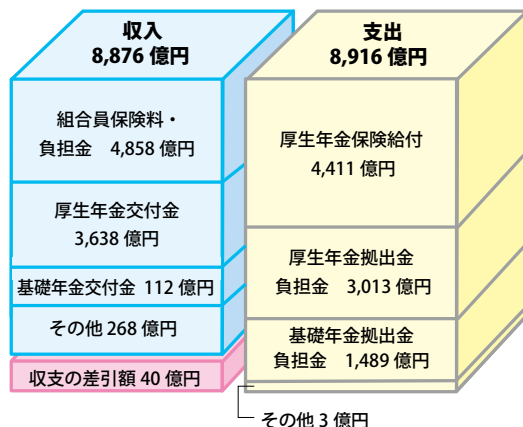
基礎年金拠出金の納付

国民年金の基礎年金の給付に要する費用

当組合は、保険料収入に対する年金給付の支給割合が高く、厚生年金保険給付組合積立金が 40 億円減少しました。

その結果、平成 29 年度末の当該積立金は、1,142 億円となりました。

収支の状況



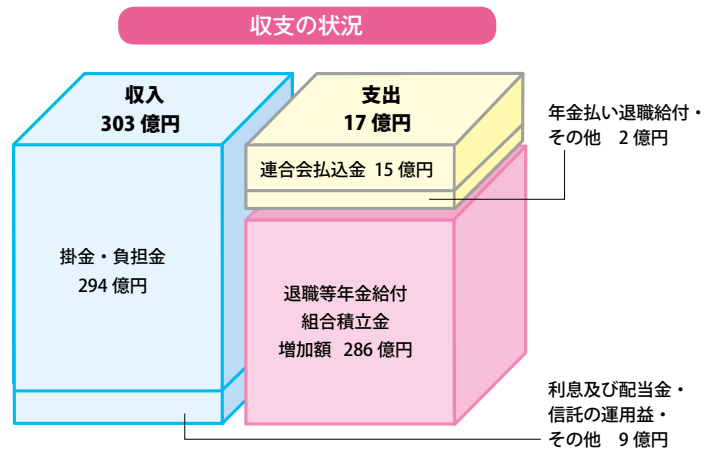
退職等年金経理

■年金払い退職給付の決定・支払い

終身退職年金、
有期退職年金等

支出が 17 億円と僅少だったため、退職等年金給付組合積立金が 286 億円増加しました。

その結果、平成 29 年度末の当該積立金は、706 億円となりました。



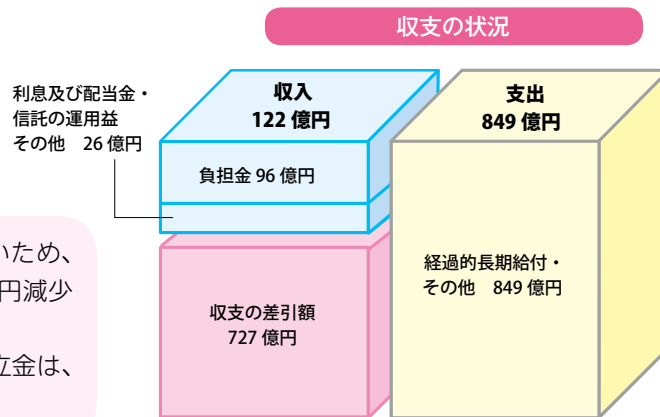
経過的長期経理

■経過的長期給付の決定・支払い

退職(共済)年金、
障害(共済)年金、
遺族(共済)年金等

掛金収入がなく負担金収入も少ないため、経過的長期給付組合積立金が 727 億円減少しました。

その結果、平成 29 年度末の当該積立金は、184 億円となりました。



保健事業

全支部で実施

■保健事業

(人間ドック・生活習慣病等健康診査等)

42 億 9 千 6 百万円 (対前年▲ 1 億 6 百万円)

■特定健康診査等事業

(特定健康診査・特定保健指導)

4 億円 (対前年+3 千 4 百万円)

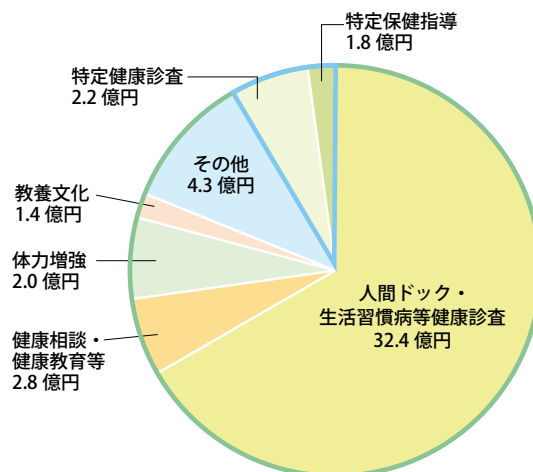
■保育所事業

2 千 2 百万円 (対前年▲ 24 万円)

■入院医療費支援制度事業

1 千 2 百万円 (対前年▲ 3 万円)

保健事業等の事業費の内訳

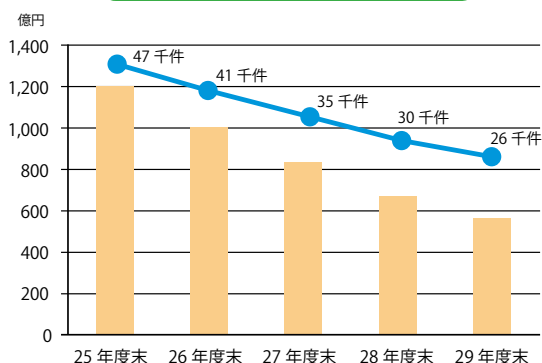


貸付事業

全支部で実施

- 貸付けの種類 普通・住宅・災害・特別等
- 貸付件数 2万6千件（対前年▲3千件）
- 貸付残高 566億3千7百万円
（対前年▲107億7千9百万円）

貸付件数及び貸付金残高の推移

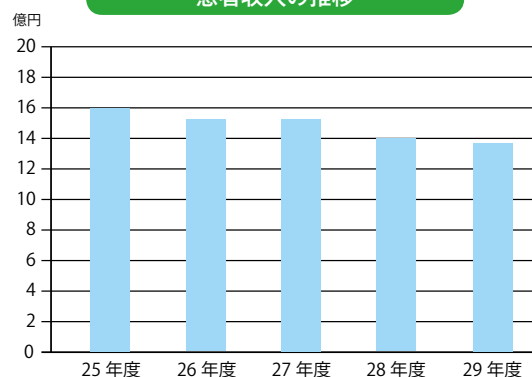


医療事業

21施設で実施

- 診療科目 内科・歯科等
- 利用件数 8万件（対前年▲2千5百件）
- 患者収入 13億8千7百万円
（対前年▲3千2百万円）

患者収入の推移

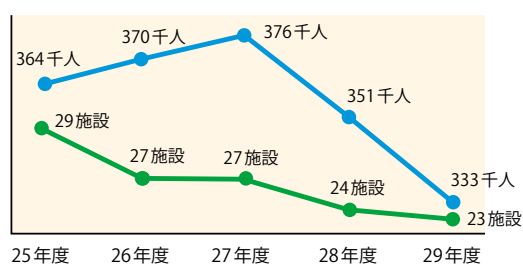


宿泊事業

23施設で実施

- 施設の利用状況
- 宿泊 33万3千人（対前年▲1万8千人）
- 会議 43万8千人（対前年▲2万8千人）
- 会食 33万8千人（対前年▲3万人）

施設数及び宿泊利用者数の推移



物資事業

7支部で実施

- 事業内容 物品の販売、食堂の経営等
- 年間売上高 24億4千3百万円
（対前年▲4千3百万円）

貯金事業

5支部で実施

- 貯金の種類 普通・積立・定期
- 貯金件数 3万1千件（対前年+441件）
- 貯金額 1,313億9千5百万円
（対前年+26億9千5百万円）